

水道事業

区 分	平成29年度	平成28年度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模 平均	
長期的健全性					
1 固定資産構成比率(%)	88.8	89.0	89.3	87.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$
2 固定負債構成比率(%)	21.7	21.8	24.9	27.7	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$
3 自己資本構成比率(%)	75.1	74.9	70.9	68.3	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$
4 固定資産対 長期資本比率(%)	91.8	92.1	93.2	91.2	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
5 固定比率(%)	118.3	118.9	125.9	128.3	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$
短期的支払能力					
6 流動比率(%)	342.8	331.3	256.3	312.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
7 酸性試験比率(%) (当座比率)	340.3	327.4	243.5	300.5	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$
8 現金比率(%)	293.3	272.0	217.8	269.4	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
資産・資本の有効利用等					
9 自己資本回転率(回)	0.1	0.1	0.2	0.2	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$
10 固定資産回転率(回)	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$
11 当年度減価償却率(%)	3.8	3.8	4.0	4.1	$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{固定資産(有形+無形)} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$
利益率・収益性					
12 総資本利益率(%)	1.7	1.9	1.3	1.5	$\frac{\text{当年度経常利益} - \text{当年度経常損失}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$
13 総収支比率(%)	118.9	120.4	114.2	115.5	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
14 経常収支比率(%)	118.8	120.7	114.3	115.4	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
15 営業収支比率(%)	116.0	118.3	107.9	108.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$

経営分析表

区 分	平成29年度	平成28年度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模 平均	
企業債関連					
16 利子負担率(%)	1.3	1.5	2.2	2.0	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{一時借入金}} \times 100$
17 企業債償還元金対 減価償却額比率(%)	47.0	43.3	53.7	54.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
18 企業債償還元金対 料金収入比率(%)	14.9	13.5	20.4	19.8	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
19 企業債利息対 料金収入比率(%)	2.7	3.0	6.1	5.9	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
20 企業債元利償還金対 料金収入比率(%)	17.5	16.4	26.4	25.7	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$
職員関連					
21 職員給与費対 料金収入比率(%)	10.9	14.3	11.6	12.5	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$
22 職員一人当たり 営業収益(千円)	74,128	76,239	74,084	67,664	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
23 職員一人当たり 有形固定資産(千円)	482,635	491,924	556,131	477,369	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}}$

(備考)

- 1 総資本は、負債と資本との合計額を用いて算出している。
- 2 No.9の自己資本は、資本金、剰余金、評価差額等及び繰延収益の合計額を用いて算出している。
- 3 No.21の職員給与費対料金収入比率の算出要素である職員給与費は、損益勘定所属職員に係る給与費を用いている。
- 4 類似規模平均欄の数値は、本市と類似規模の都市である給水人口15万人以上30万人未満の市の水道事業者の平均値を表している。
- 5 全国平均欄の数値は、「地方公営企業年鑑」(総務省自治財政局編)の「水道事業(14)累年貸借対照表及び財務分析表(法適用)イ財務分析表」の数値を用いている。